

◆総務委員会(8月21～23日)

視察市／高崎市・三鷹市・横浜市



横浜市営墓地メモリアルグリーンを視察

本市の市立短大4年制移行を視野に入れ、高崎経済大学を視察しました。まちづくりに貢献できる人材育成に主眼を置いた「地域政策学部」があり、多くの卒業生が高崎市や大学を支えています。単年度収支も黒字に近い状況でした。また、三鷹市では、人材育成・人事考課制度と、自転車の安全利用について調査。横浜市では墓苑整備の現地視察を行いました。先進地の取り組みを、本市の施策にも反映していきたいと思えます。

◆文教経済委員会(8月7～9日)

視察市／福島市・盛岡市



遺跡の学び館で出土物の復元作業を視察

福島市の中心市街地では、昨年7月駅前が開館した教育文化複合施設「こむこむ」が、はや40万人の入館者数を達成し、活性化に大きく貢献。また、屋台村や商店街オープンカフェなどユニークな活性化策を展開していました。盛岡市では、独自のネットワーク構築によるニート対策を推進するとともに、「遺跡の学び館」では、埋蔵文化財の調査、保存、展示、体験学習など一連の事業を効果的に展開していました。

常任委員会の視察報告

◆民生福祉委員会(8月7～9日)

視察市／新潟市・世田谷区・武蔵野市

4月から介護保険法が改正され、介護予防重視の施策展開が求められる中、新潟市と世田谷区における特定高齢者の選定方法や通所型の介護予防事業について視察しました。

武蔵野市では、全国で初めての乳幼児の親子が集う公共施設「0123はらっぱ」を見学しました。施設では、ひろば事業、つどい事業、相談事業、情報提供事業、地域交流事業など幅広い取り組みをしており、子育て支援策の充実ぶりを学びました。



施設での取り組みを聞く(0123はらっぱ)

◆建設水道委員会(8月7～9日)

視察市／八戸市・石巻市

八戸市のくらしのみちゾーン整備事業は、国の補助事業で、中心市街地における歩行者に配慮されたみちづくりを目指すもので、沿道の緑化整備をしたり、空き地を利用してイベントを実施するなど大変参考になるものでした。

また、石巻市の木造住宅耐震診断と耐震工事助成事業は、地震の経験から宮城県と連携して行っている事業で、本市においてもこれから検討する課題であり、その仕組みを勉強してきました。



八戸市での視察の様子

編集後記

子どもやお年寄り、そして若者の元気が、住みよいまちのバロメーター。格差もなく誰もが元気で明るいまちをめざして、市内のすべての学区で協働のまちづくりの取り組みが始まっています。それぞれの学区で持ち味を出し、個性ある協働のまちづくりの取り組みを期待しています。老若男女を問わず、一人ひとりがまちづくりの主役として、安心・安全、心の通ったまちづくりを。(池上)